

第11回 北海道・東北社会人アメリカンフットボール 王座決定戦 「絆ボウル2017」

Game Report

	1	2	3	4	TOTAL
仙台ブラックボルツ	0	0	0	0	0
クムスイーグルス	0	7	0	3	10

2014年以来の出場となるクムスイーグルスを4年連続出場の仙台ブラックボルツが迎える。

前回の両者の対戦は仙台ブラックボルツが14-0で勝利しており、クムスイーグルスが雪辱を果たすのか、それとも仙台ブラックボルツが対北海道の対戦成績で勝ち越すのか。

11月下旬ながら気温は15℃前後、天気は快晴という絶好のコンディションのなか、

仙台ブラックボルツのキックで試合開始、イーグルスのファーストシリーズはランでファーストダウンを一度更新するもパントへ、ブラックボルツは自陣奥からの攻撃となるが、反則を重ねてしまいどんどん苦しいポジションへ。パントで逃れるもイーグルスに良いフィールドポジションを与えてしまう。しかし、ブラックボルツディフェンスは次のイーグルスのオフenseにファーストダウンを許さず、さらにイーグルスのパントが短くなってしまい、ブラックボルツは良いポジションを得る。

しかし、イーグルスディフェンスもブラックボルツのファーストダウンを一度しか許さずパントへ追い込むほとんどパスがないため非常に早い展開で第2Qへ突入、イーグルスは自陣20ヤード付近からのオフenseとなるが、得意のランとたまに織り交ぜるパスが効果的に決まり、どんどん前進してレッドゾーンへ。

フェイクパスでTDを狙い、決まったかと思われたがブラックボルツ#25板野がギリギリのところまでパスをカット、しかしながらその後のプレイでイーグルス#20葛西が20ヤード近くを走りきりTD、TFPも決めイーグルスが7-0と先制し前半終了。

イーグルスのキックで後半開始、ブラックボルツオフenseはパスへチェンジ、しかし早々にエクスチェンジでミスをしてしまいファンブルロスト、イーグルスに良いポジションを与えてしまう。しかしイーグルスも反則でファーストダウンを更新できずパントとなるもパンターがボールを拾った時に膝をついてしまい、ブラックボルツに良いポジションを与えてしまう。

好機を得たブラックボルツはパスとドローでどんどん前進し、ゴール目前までせまる。しかしながらイーグルスディフェンスが踏ん張り、得点を与えない。変わってイーグルスの自陣奥深くからのオフense、QBが割って入られたディフェンスにエンドゾーン内でつかまり、あわやセフティーかと思われたが近くにいたRBへトスし、難を逃れる。

4Q、なんとか得点したいブラックボルツだが、INTをくろうなどオフenseを思うようにすすめられない、逆にイーグルスは終盤にFGを決め10-0とし、そのままイーグルスの勝利、前回の雪辱を果たし、絆ボウル初勝利となった。